

5

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
14103001	海洋有機物プールのダイナミクスと地球表層物質循環の長期変動との関わり	田上 英一郎 (名古屋大学・大学院環境学研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、海水中の溶存有機物を分子レベルで解析するという独創的で世界トップレベルの研究であり、得られた成果は、海洋の有機物の起源と代謝過程、代謝様式などを対象とする新しい研究領域の発展に繋がるものと思われる。また、環境タンパク質の網羅的解析に向けての国際的研究動向にも大きなインパクトを与えるものと思われる。</p>			

6

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
14102033	トーラス型非中性プラズマを用いた高速流プラズマの高ベータ平衡と安定性の実験的検証	吉田 善章 (東京大学・大学院新領域創成科学研究科・教授)	B
<p>(意見等)</p> <p>本研究は強い流れのある磁化プラズマを対象にして、スペクトル理論や緩和理論を展開する事と同時に、代表者がかねてより研究を進めてきた double Beltrami 状態を実験的に研究する事、また、ダイポール磁場の中に流れの動圧によって閉じ込められた高圧力プラズマを実現し、安定性を研究する事を目的としている。</p> <p>研究終了報告書に列挙された発表論文について判断すると、理論的研究については、期待通りの研究が進展したと言える。実験研究については、高速流を実現する事に成功しているが、流れの動圧によって閉じ込められたプラズマを実現するという課題については部分的成果にとどまっており、安定性を実験的に検証するという目的については、今後の課題として残されている。</p>			